

ワークショップの主題と目標

主 題 ：地域における急性期中核病院の卒後臨床研修プログラム・プランニング

目 標 （ゴール）：

初期臨床研修医(研修医)が基本的臨床能力を2年間で修得できるように、望ましい研修プログラム(研修目標・教育方略そして評価)とは何かを理解し、適切な教え方と正しい評価能力を身につけ、研修医から愛される臨床研修指導医になる。

具体的目標：

1. 教育の原理の概略を理解し、望ましい指導医としての態度(姿勢)がとれる。
2. 基本的な臨床能力の修得に適した研修システムとは何かを同僚と考える。
3. 研修プログラムの構成ならびに立案の手順の概略を説明できる。
4. 目標、方略ならびに評価の要点を述べることができる。
5. 患者・社会のニーズに配慮した研修のあり方について説明できる。
6. 卒後臨床研修の研修テーマ例について適切な研修目標を設定できる。
7. 個々の研修目標に適した研修方略を立案できる。
8. 研修医に対して学習改善のためのフィードバック(形成的評価)ができる。
9. 研修終了時の評価(総括的評価)のあり方について述べることができる。
10. 地域包括ケアシステムの考え方と多職種連携のあり方について解説できる。
11. 各医療施設に戻り継続的な臨床研修の改善に積極的に寄与する。